

# 図解 『大規模半壊』

この大規模半壊イメージ図は、2014年新潟県中越地震で被災し現存する被災建物の調査データをもとに、建築専門家のアドバイスを受けて作成したものです。一次調査（外観）で半壊判定相当であった建物で、二次調査（外観＋内観）によって大規模半壊判定相当になると考えられる建物内部の被害をCGで表現しました。外観の被害のイメージは右図の通りです。



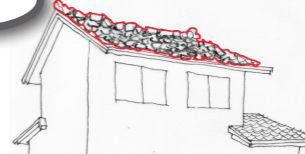
⚠ 図中の「赤色」部分が損壊箇所を表現しています。

外壁



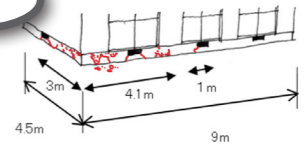
建物全体に対する損害割合 15%  
 (外壁の損傷率 = 20% : 仕上材が脱落している)

屋根



建物全体に対する損害割合 6%  
 (屋根の損傷率 = 40% : 棟瓦が全面天気にずれ、破損あるいは落下している。棟瓦以外の瓦のずれも著しい)

基礎



建物全体に対する損害割合 6%  
 (基礎の損傷率 = 60% : ひび割れの集中、剥落が生じている)

